

令和7年第2回(6月)泉崎村議会定例会報告書

1	会 期	令和7年6月2日(月)～6月13日(金) 12日間
2	議 案 等	報告 3件 議案 9件 発議 2件
3	一 般 質 問	令和7年6月10日(火) 4名
4	請 願・陳 情	請願書 3件 陳情書 1件

◎ 議案等の審議及び概要は次のとおりです。

【報告第1号】 令和6年度泉崎村繰越明許費繰越計算書

(受理) ◇地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和5年度において繰越明許を設定した一般会計8事業について繰越計算書を報告するものです。

【報告第2号】 令和6年度泉崎村事故繰越し繰越計算書

(受理) ◇地方自治法施行令第150条第3項の規定により、令和6年度において事故繰越しを設定した一般会計1事業について繰越計算書を報告するものです。

【報告第3号】 白河地方土地開発公社経営状況報告について

(受理) ◇地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、泉崎村が55万円出資している白河地方土地開発公社の事業及び決算について、報告するものです。

【議案第21号】 泉崎村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(原案可決) ◇令和7年4月1日よりJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)参加者の報酬額の基準が国により引き上げられたことに伴い、語学指導等を行う外国青年招致事業に従事する会計年度任用職員の基本報酬の上限月額を改定するため、本条例の所要の改正を行うものです。

【議案第22号】 泉崎村税条例の一部を改正する条例

(原案可決) ◇地方税法等の一部を改正する法律施行に伴う地方税法等の一部改正に準じた改正及び前納報奨金制度廃止するため泉崎村税条例の一部を改正するものです。

【議案第23号】 泉崎村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(原案可決) ◇保育所を含む児童福祉施設等、児童が長期にわたり入所又は通所する施設については、安全計画を策定を始めとする「児童の安全の確保」に関する事項が国の定める運営基準として明確に位置付けられるため、本条例の所要の改正を行うものです。

【議案第24号】 泉崎村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(原案可決) ◇保育所を含む児童福祉施設等、児童が長期にわたり入所又は通所する施設については、安全計画を策定を始めとする「児童の安全の確保」に関する事項が国の定める運営基準として明確に位置付けられるため、本条例の所要の改正を行うものです。

【議案第25号】 泉崎カントリーヴィレッジ・ターミナル設置条例の一部を改正する条例

(原案可決) ◇現行条例の料金規定と近年の消費者物価指数の米価の高騰、野菜・加工品及び光熱費などの物価上昇が一致していないことから、食事代を含む宿泊料の適正化を図るため、本条例の所要の改正を行うものです。

【議案第26号】 泉崎村道路線の認定について

(原案可決) ◇道路台帳の見直しにより、当該村道路線と他路線との重複部分が確認できたことから、当該路線を新たな村道として認定するものです。

【議案第27号】 令和7年度泉崎村一般会計補正予算(第1号)

(原案可決) ◇歳入歳出それぞれ1億5,217万2千円を増額し、歳入歳出の予算の総額を歳入歳出それぞれ42億8,217万2千円とするものです。

【議案第28号】 福島県市町村総合事務組合理約の一部を改正する規約

(原案可決) ◇南会津地方環境衛生組合が令和7年3月31日に解散したことに伴い、福島県市町村総合事務組合の構成団体の数を減少させるため、福島県市町村総合事務組合理約を変更する必要があることから、組合理約の変更に係る関係地方公共団体との協議について、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものです。

【議案第29号】 泉崎村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(原案可決) ◇最近における物価の変動等を考慮し、選挙等の円滑な執行を図るため、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、選挙長等の費用弁償額について、所要の改正を行うものです。

◎ 発 議

※採択されました請願及び陳情は、議員発議により議会に提案され、可決後、意見書として国、県等の関係機関へ積極的に働きかけを行うものです。

【発議第3号】 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について

(原案可決) 提出者:経済文教常任委員会委員長

【発議第4号】 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

(原案可決) 提出者:総務厚生常任委員会委員長

◎ 請 願 書

受理No. 1 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

(採択)

提出者：福島県教職員組合
中央執行委員長 瀬戸禎子

◎ 請 願 書

受理No. 2 「消費税5%への減税を求める意見書」の提出を求める請願書

(不採択)

提出者：消費税廃止各界連絡会
事務局長 服部 雅

◎ 請 願 書

受理No. 3 「インボイス制度廃止を求める意見書」の提出を求める請願書

(不採択)

提出者：消費税廃止各界連絡会
事務局長 服部 雅

◎ 陳 情 書

受理No. 2 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

(採択)

提出者：日本労働組合総連合会福島県連合会
白河地区連合 議長 藤田隆司

(以上)

令和7年 第2回（6月） 泉崎村議会定例会通告質問一覧表

番号	質問者	質問事項	質問要旨
1	鈴木保仁議員	1. 带状疱疹ワクチン接種補助について	1. 今現在の带状疱疹ワクチン補助について内容を伺う。 2. ワクチン補助対象者にはどの様に告知しているのか伺う。 3. 今後、村独自に带状疱疹ワクチン接種補助対象年齢の拡大の考えはあるか伺う。
		2. 正規職員採用について	1. 正規職員採用基準を伺う。 2. 高校生新卒者の採用は可能か伺う。
2	鈴木義男議員	1. 10月村長選挙へ向けての考えについて	1. 令和3年11月に箭内村政が誕生しました。誠意と熱意をもって創る泉崎、住んでよし、誇れる村づくりのスローガンを基に各種政策及び事業に取り組まれております。1期目も残り概ね4カ月となりました。箭内村長としてこれまでの公約及び政策の実現など、どう総括しているのか伺います。 2. 村としても今後10年間の第6次泉崎村総合振興計画を策定し泉崎駅周辺整備駅東口開発事業、学校給食センター建設、原・踏瀬長峰地区基盤整備と大きな事業が進んでおり又、各種バランスの取れた政策が望まれております。これらの事業は3年、5年、10年と時間がかかります。引き続き2期目も箭内村政に職責を担って事業の推進、政策を行っていただきたいと思っております。あらためて2期目への出馬意向について伺います。
		2. 移住・定住支援について	1. 天王台・都橋住宅団地は現在それぞれ何区画ずつ残っているのか、又、この5年間の販売状況。又、支援策の実態について、併せて空き家バンク制度利用者の実態はどうか、これらについて伺います。 2. 泉崎村での移住・定住支援策で天王台・都橋住宅団地の販売支援策は7項目ほど有る。村としても早期に住宅団地の完売を目指したいところですが、なかなかそう簡単にはいかないと思います。村全体での移住・定住支援を考えた時空き家バンク制度の支援策、空き家の改修・除去等支援事業、泉崎村の住民になって新たに住宅を購入する移住定住補助金制度。東京圏から泉崎村に移住したい方の為の移住支援金など幅広く支援策を設けたほうが良いのではないかと。又、泉崎村に移住する前に村を知りたいということでお試し滞在補助金という宿泊補助もあるかと思ひます。これらの幅広い支援策及び補助金制度の策定について伺います。

令和7年 第2回（6月） 泉崎村議会定例会通告質問一覧表

番号	質問者	質問事項	質 問 要 旨
3	長久保孝行議員	1. 小中学校バリアフリー化の状況について	1. 文部科学省が令和7年4月3日までに発表した全国の公立小中学校のバリアフリー化の実態調査の結果で、福島県は全国ワースト2位と発表されたが、村内小中学校の設備状況を伺う。 2. 国は公立小中学校のバリアフリー化を義務付ける「改正バリアフリー法」を令和3年4月から施行し、整備を進めるため改修工事に対する補助率を2分の1に引き上げたが、泉崎村の今後の計画・方針を伺う。
4	白石正雄議員	1. 物価高騰について	今年度も物価高騰が引き続き、村民生活への影響が心配される。これまで行われてきた村民生活支援対策は、継続されるのか伺うと同時に、新たな対策は検討されているのか見解を伺う。 ①今年度の対策事業計画
		2. 生産者と消費者米価について	消費者米価が高騰し、米不足が指摘されている。農林水産大臣の不用意な発言によって、辞任に追い込まれるほど、農政は緊迫した情勢となっているが、消費者米価と生産者米価のあり方についての村長の見解を伺う。
		3. 住民基本台帳の取り扱いについて	2024年3月29日、奈良地方裁判所に「自衛隊名簿提供違憲訴訟」が提訴されている。個人や家族の了解を得ない住民基本台帳の情報提供は憲法違反であるとの訴えである。泉崎村は自衛隊からの個人情報提供について、どのように対応しているのか。情報提供しているならば、その形態や提供様式についても伺いたい。
		4. 人口対策について	鏡石町駅東側や矢吹駅南側などで住宅地域拡大が進んでいる。泉崎村としても福島県南地方の地理的中心であることや、あるいは交通の利便性など、地域の有利性を活かした人口増対策が必要であると考え。先行投資を含めた計画を検討すべきではないか見解を伺う。
		5. 産業振興計画について	これまでの議会において各種の提案を行ってきましたが、財政再建や東日本大震災復興、原発放射能除染、コロナ感染防止対策などに追われ、村外にアピールし、産業振興を後押しする事業が少なかったように思うが見解を伺う。
		6. 在宅介護支援について	今国会の論議を聞くと、厚労省は全国一万床の病床削減を方針としているようである。これが実施された場合に、在宅療養が増加し、高齢者に対する在宅介護と合わせ、在宅療養支援が必要になってくるのではないかと見解を伺う。
		7. 羽鳥水系の水不足について	羽鳥ダムの水不足は、水系水田の稲作に大きな影響を与えている。湖水の利水計画は、降水量に左右されるところが大きい。地球温暖化による天候不順に左右されない、根本的な対策が必要と考える。群馬県のハツ場ダムが完成しているところから、計画が消滅した大信地区の田の沢ダムについて、広域として再検討する必要があるのではないかと見解を伺う。